



なかいべつ 議会だより

No. 105
2015 (平成27年)
4. 30



予算審査特別委員会	2~4
一般行政・教育行政報告	5
3月定例会	6
一般質問	7~9
研修会、広域連合・一部事務組合議会報告	10
意見書、人事案件	11
常任委員会活動レポート	12~13
活動報告、議会報告会開催	14

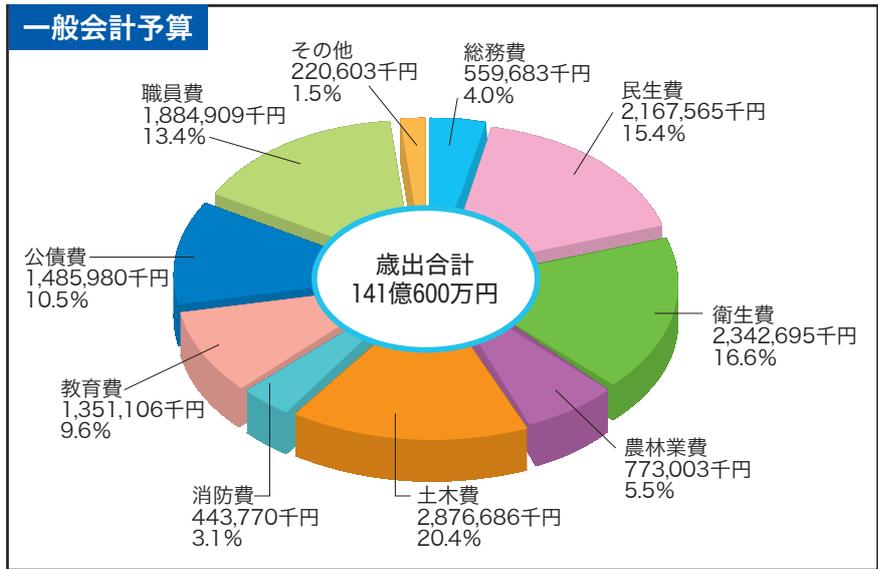
予算審査特別委員会

前年度比4.2%増

各会計総額予算 263億7,216万4千円

一般会計 141億600万円
 特別会計 66億2,148万7千円
 企業会計 56億4,467万7千円

平成27年度一般会計、各特別会計、企業会計は、予算審査特別委員会（鈴木克弘委員長）に付託されました。委員会は、3月3日・4日・5日及び9日・10日の5日間にわたり慎重かつ熱心に審議が行われました。3月12日定例会最終日に、一般会計予算ほか、各会計予算ならびに関連条例などについて討論があり、水石幸衛議員、端裕子議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数により、原案どおり可決されました。



主な事業

- 魅力発信交流事業（大学ゼミ・サークルを誘致し、地域交流） 1,000千円
- 防災対策・危機管理対策経費（地域防災研修会、防災備蓄品・資機材・倉庫整備 他） 13,585千円
- 子ども・子育て支援事業
 （一時預かり・ファミリーサポートセンター・病児保育の各事業委託 他） 21,095千円
- 児童センター整備事業（外構工事、東児童館・東第2児童クラブ解体工事 他） 58,800千円
- 丸山公園整備事業（(仮称)総合体育館建設 他） 1,224,050千円
- 公営住宅建設事業（旭第2団地7号棟新築工事（8戸） 他） 212,253千円
- 高機能消防指令装置整備事業（消防緊急通信指令施設更新） 108,000千円
- 女性消防団員採用経費（7名予定） 1,294千円
- 農業高校乳加工実習室改修整備事業（実施設計） 4,500千円

主な条例の制定・一部を改正する条例制定 (他10件)

- 中標津町子ども・子育て会議条例の制定
- 中標津町児童センター設置条例の制定
- 中標津町児童会館設置条例の一部を改正する条例制定

予算審査特別委員会

平成27年 予算審査特別委員会 一問一答

◆無料法律相談開設 経費について

【質問】

26年度の相談人数、告知の方法について、中標津開業の弁護士がいるのを知りたい。

【答弁】

現在、5回で31件、町の広報で法律相談について知らせています。

中標津の弁護士は2人お願いしています。

◆児童・生徒の安全 について

【質問】

スクールバス通学生の荒天時の宿泊に対応する内容について知りたい。

【答弁】

東小を除くスクールバス通学生在籍の学校に宿

泊対応の配備をしていません。非常食の更新も行なっています。

◆魅力発信交流事業 について

【質問】

大学ゼミ、サークルを誘致して交流と地域課題研究ということだが、従来より町民の手により運営されてきた「野生動物保護センター」は、この政策を先取りしてきたと

もいえるが、これの存続のために行政は何かできるか、研究する時期ではないか。

【答弁】

この施策の趣旨とは異なる部分もあるが、獣医学科の学生をこの地に誘致してきた実績に対し、何が行政としてできる

か、研究してまいります。

◆景観計画策定経費 について

【質問】

計画の策定と景観行政団体移行に向けた基本方針策定とのことだが、「中標津らしさ」とは何かと

いうことについて、専門家とともに過去の景観審議会のメンバーも含め、広範な議論を経て、結果として「協定」や「規制」

へつながる動きであると理解してよろしいか。

【答弁】

ワークショップやパブリックコメントなどの募集を含め、策定委員会の議論を尊重して方向性を決めていきます。

◆病院会計における オーダーリングシス テムについて

【質問】

一般会計の繰入が議論される中で、診療報酬の

増につながる医療機器の購入ではない事務処理電子システムをどうしても更新しなければならぬのか。

【答弁】

国の診療報酬の体系が変わるたびにそれに対応しなければならず、システムの更新容量は3回が限度なため、7年を経過しており、ソフト部分において更新するもので、

ご理解をいただきたい。

◆軽自動車税におけ る乗用車の税額増 について

【質問】

国の法律に合わせ自治体側もそれに準拠していかなければならないのだが、公共交通機関の完備されている大都市と違い、車に頼らなければ

生活できない地域にあつて、何がしかの軽減措置は考えられないものか。

【答弁】

先に条例において決定していることでもあり、規定どおり実施していかなければならず、生活保護世帯などへの既存の減免措置を実施することでご理解をいただきたい。

◆診療体制について

【質問】

現在、町立中標津病院内科への町外からの患者は、紹介状が必要となっていますが、当病院は現在根室地域のセンター病院となつている。

センター病院であるならば、根室地域の患者は紹介状がなくても診察すべきと思うが。

【答弁】

現在も紹介状の提出を求めています。紹介状がなくても、拒否せずに診察を行なっているのが現状です。



予算審査特別委員会

◆除排雪について

【質問】

高齢者独居世帯、高齢者夫婦のみの除排雪において、どの業者に依頼しているのか分からず困っている方がいる。

その対応と業者のリストアップはどのようなようになっているか。

【答弁】

高齢者福祉を担当する福祉課と協議し、建設管理課において対応していますが、町が委託している業者以外のリストアップ、一覧表の作成等について、今後協議していきます。

◆暴風雪被害対策について

【質問】

3月8日までの両JAにおける暴風雪による農業施設被害は、65件（半数は保険適用外）となっており、平成26年度経営体育成事業において2分

の1の補助事業がありましたが、今年度も被害地域一体となって申請すべきではないか。

【答弁】

両JAとも相談しながら検討してまいります。

◆防風林隣接農地の雪害対策について

【質問】

度重なる暴風雪により、今年防風林隣接地の農地においては、例年の2、3倍の積雪があり農作業の遅れや収穫量等が心配されているが、その対策についてお聞きしたい。

【答弁】

両JAと相談しながら調査・研究し、対応してまいります。

◆木材利用推進事業について

【質問】

この事業で、フォーラムや先進地視察とある

が、この内容と林活議連との連携をより密にしてはと考えるが。

【答弁】

視察研修は職員での実施を考えています。

また、議員で組織している林活議連との連携は、林業関係者との会議にオブザーバー参加を願うなど、関係を強化してまいります。

◆児童生徒の安全安心サポート事業について

【質問】

川崎市での中1殺人事件では、先生が不登校の本人にも親にも会えずにいましたが、当町では、本人に会うこともできない子どもはいるか。また不登校の子どもは何人いるのか。

【答弁】

不登校の子どもは小学生1人、中学生で3人いますが、全員連絡は取れています。

児童センターみらいる 5月にオープン



新年度の児童センター整備事業は、現存している東児童館と東第2児童クラブを解体して、通路・駐車場と児童センターの外構の整備を行い、旭児童公園との一体的な利用を図ります。事業の予算額は、5千880万円となっています。

一般行政報告

一、要望等について

北方領土隣接地域振興対策根室管内市・町連絡協議会として、2月7日北方領土の日に蘭浦外務大臣政務官来根の際、懇談会において人道支援患者の受け入れに係る医師の確保など医療機能の整備、中標津空港を活用した北方領土の普及啓発と交流人口の増加、本年予定されているプーチン大統領の訪日による外交交渉の前進について要請しました。

根室町村会として、今冬の例年になく発達する低気圧の影響により、年末から度重なる大雪と暴風雪に見舞われる状況が続く、各町とも住民生活の維持、地域経済活動の維持等のため、厳しい財政状況の中で例年になく財政需要となり、2月24日に北海道知事をはじめ担当部局及び管内選出道議会議員に対し、除排雪経費に対する財政支援について要請しました。

1月8日から10日にかけて、町立中標津病院の現状及び診療体制の報告、地域医療の抱える問題について意見交換を行い、各医科大学に対し医師の継続派遣について要請しました。

二、寄贈金品について

12月定例会後、現金で6件、42万5千円、物品で5件の寄贈がありました。

三、暴風雪への対応状況について

昨年12月16日には役場及び交流センターを避難収容施設として開設、13名の帰宅困難者を受け入れ、一部地域での停電、倒木、除雪車による人工透析患者の送致等が発生、前段気象庁の予報により通常の携帯メール、SNSによる情報提供、新聞折込、両農協のFAXを活用した情報提供

を行いました。

1月17日からの暴風雪では役場及び交流センターを避難収容施設として開設、12名の帰宅困難者を受け入れ、一部地域での停電、農業関係では畜舎等24件の被害、1月23日では畜舎等で3件の被害、1月31日からの暴風雪は4日間と続き、役場には9名の帰宅困難者が来庁、吹き溜まり等による車両スタック7件、畜舎等で6件、降雪による集荷路線の閉鎖で生乳の廃棄処分3件で1.5tの被害、独居老人及び老人世帯の安否確認体制を整えて対応、2月14日には役場及び交流センターを避難収容施設として開設、26名の帰宅困難者を受け入れ、吹き溜まり等による車両スタック、一部地域での停電、高齢者世帯の暖房用給排気口の除雪対応、除雪車による人工透析患者の先導、畜舎の屋根破損等で16件、暴風雪による集荷路線の閉鎖で生乳廃棄処分が6件1.62tの被害が発生しましたが、これらの暴風雪時には、早めの気象状況の提供、町内小中高の臨時休校措置など、

関係機関との連携協力等により人的な被害は防げました。

四、中標津空港の利用促進について

3月17日から5日間の日程で中標津と台湾を結ぶ国際チャーター便で相互乗り入れ

アールが実現、また国内チャーター便については、関西方面を中心とした約40便規模の就航を調整中です。

道東5空港で連携を強化し、なお一層の利用促進、旅客需要の喚起に積極的に取り組めます。

教育行政報告

一、各種大会等への出場結果について

1月11日登別市で開催された第41回JSCA新年フェスティバル水泳競技大会に中標津水泳少年団17名が出場、丸小5年男子が10歳以下個人メドレー100m、丸小3年男子、中小4年女子が11・12歳以下個人メドレー100mで1位、丸小5年女子が11・12歳以下800m自由形で1位の成績を収めました。

少年団19名が出場、丸小3年男子が500m、東小3年男子と中標津中2年男子が1000mで、それぞれ1位の成績を収めました。

中標津農業高校農業クラブは2月5日から新ひだか町で開催された全道実績発表大会で文化・生活部門で優秀賞を受賞しました。

二、各賞受賞について

1月16日から北見市で行われた第37回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会に中標津スピードスケート

中標津農業高校は、パナソニック教育財団が事務局を務める、こころを育む総合フォラムにおいて全国優秀賞を受賞しました。

3月定例会 条例改正など 全議案可決

平成27年3月定例会を3月2日から12日まで開催、以下の議案について審議し、議決しました。

補正予算

■専決処分の承認（一般会計）

除雪委託料 7,000 万円（27年1月23日）
除雪委託料 6,000 万円（27年2月10日）

■一般会計補正予算

4 億 8,342 万 6 千円を追加し、149 億 1,803 万 2 千円となりました。

主な使いみち

- ・総合戦略策定経費 1,000 万円
- ・農業後継者対策事業 150 万円
- ・移住促進事業 319 万 9 千円
- ・除雪委託費 1 億 2,000 万円
- ・街路事業費（電気代） 197 万 5 千円

■国民健康保険事業特別会計補正予算

4,421 万 2 千円を減額し、28 億 7,081 万円となりました。

■介護保険事業特別会計補正予算

48 万 6 千円を追加し、13 億 538 万 6 千円となりました。

■下水道事業特別会計補正予算

248 万 3 千円を追加し、10 億 8,082 万 3 千円となりました。

■簡易水道事業特別会計補正予算

2,087 万 5 千円を減額し、3 億 3,722 万 3 千円となりました。

■水道事業会計補正予算

(千円)

		補正額	補正後の額
収益的	収入	0	486,726
	支出	1,000	367,805
資本的	収入	△ 11,680	432,230
	支出	△ 14,631	523,983

■病院事業会計補正予算

(千円)

		補正額	補正後の額
収益的	収入	151,126	4,072,668
	支出	△ 1,240	4,549,934
資本的	収入	△ 8,933	321,628
	支出	△ 8,967	440,463

条例の一部改正

- ◆中標津町行政手続条例の一部改正
- ◆中標津町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

一部事務組合同規約の一部変更

根室北部消防事務組合 根室北部衛生組合
中標津町外2町葬斎組合

町道路線の認定

中標津町児童センター建設に伴う認定
東8条仲通り、東8条仲通りの2



ズバリ!

町政を問う

ここが聞きたい

3月定例会では6人の議員が7問の質問をしました。理事者からの答弁を要約して掲載します。

Q 合葬式墓地の設置

A 必要性を調査研究



渡邊 将史 議員

質問

少子高齢化が進む昨今、墓地に対する意識の変化や、お墓があっても後継者がいないことで、先祖の墓地供養の維持管理等に不安を感じている町民（特に高齢者）がいます。先日のテレビ放映によると、都市部では墓じまいをする人も多いとのこと。中標津町でも墓じまいをする方がいるのか、ある石材店で話を聞いたところ、昨年から15件程あるとのことでした。

墓じまいをしても、高齢者の方にとって経済的負担が多くなります。

このようなことから、現代のさまざまな社会的事情によって、今後、合葬式墓地が必要とされるのではないかと考えています。

合葬式墓地の設置を望む声がありますので、ぜひご検討願います。

町長答弁

本町では中標津町第2墓地の第3次拡張計画を検討しななくてはならない時期となりました。

さまざまな在り方がありますので、平成27年度に町民ニーズ調査を実施し、合葬式墓地、樹木葬などの必要性を調査研究し、さらには費用対効果の検証や導入自治体における導入後の状況を分析し、中標津町第2墓地の第3次拡張計画での実施についての検討を進めていきたいと考えております。

Q パーキングパーミット制度（身障者用駐車場利用証）

A 制度について研究します



水石 幸衛 議員

質問

スーパーや公共施設、病院などには、身障者用駐車場がありますが、心ない人達の違法駐車により、車を止められないという多くの声を聞きまし、私も何度も目にします。そこで他の自治体では、本町に身障者用駐車場を必要とする人に、共通する利用証を交付することで、駐車場を利用できる人を明確にし、駐車スペースを確保するルールを決めたパーキングパーミット制度を実施しております。

この制度は身体に障がいのある方をはじめ、高齢者や妊産婦の方なども駐車でき、これによって障がいのない方の駐車をなくすことはもちろんのこと、車を運転する方々の意識を変えてもらい、町民が

ゆずり合いと思いやりの心を持ち、安心して障がい者が暮らしやすいまちづくりのため、この制度の導入を行うべきと考えますがご見解をお聞かせください。

町長答弁

この制度のメリットは利用対象者以外の使用の減少や、障がい者に対する意識向上になるばかりか、見た目でわからない内部障がい者の方や、妊婦、けが等の歩行困難な方なども対象にしています。

これらの問題行動は、根本的に社会道徳、モラルの問題であり、今後不適正な駐車抑制のための広報、啓発活動を継続しながら、広域的な取り組みが必要と考えますので研究します。

ズバリ!

町政を問う

ここが聞きたい

教育委員会制度

民主的な教育委員会体制を堅持



佐藤 武志 議員

質問

政府は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」を改正し、本年4月より施行します。

今回の改正は教育委員会を合議制の執行機関として残すものの①首長が教育に関する「大綱」を策定②教育委員長と教育長を一体化した「新教育長」が教育委員会の会務を総理③首長が主宰する「総合教育会議」の新設など、首長・教育長の権限を強化するものです。

教育委員会制度は、行政の不当な支配・介入を禁じ、教育の独立性・自主性・自律性を

を確保するために設けられたものです。

本町は教育長の任期もあり、当面は教育委員長が併存しますが、政治的中立性・継続性・安定性を担保し、子ども・保護者・地域の要請にもとづく民主的な教育委員会体制を堅持すべきと考えますがいかがでしょうか。

町長答弁

今回の改正は、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化などを図るものです。

改正のうち総合教育会議については、主宰者は首長となつていますが、附属機関ではなく教育委員という対等な執行機関として位置づけられています。

また、住民の意向を教育行政に反映させる「レイマントロール」の考えは変わっていません。教育長との信頼関係を保つことも重要と考えています。

以上のことから、教育の政治的中立性・継続性・安定性を保持し、なおかつ子ども・保護者・地域の要請にもとづく民主的な教育委員会体制を堅持したく考えております。

冬期間の観光客の確保

さまざまな可能性を研究



松村 康弘 議員

質問

北海道東部の大雪がテレビのニュースで、必ずといっていいほど中標津町の状況がライブ映像で流れます。雪と寒さに閉ざされる「半年観光」では通年雇用による優秀な人材も確保できず、地方創生戦略を展望し、観光を重要な産業の柱として育てるためには、冬場の観光客をどう確保するかが極めて重大な課題となります。

そこで、このマスコミ報道を逆手に取り、ツアーの最中に猛吹雪で移動が不可能になったら、追加の宿泊費は無料(大幅軽減)という発想や、開陽台の通年運営、開陽観光開発跡地にサミット招致のようなダイナミックな創意が問わ

れているのではないかと

町長答弁

冬場の観光振興を念頭にさまざまな手を打っており、特に今期は台湾からのツアー客の入り込みをめざして中標津空港からのチャーター便も実現させました。

他にも「地域おこし協力隊」の活動や「外国人観光客受入研修会」の実施もされ、近隣の自治体との連携も進んでいます。

開陽台観光については観光協会が次年度中に再構築構想をまとめる予定があり、その構想を受けてさまざまな角度から最適な方策を検討いたしますが、開陽観光開発跡地の運用については、景観存続を視点の中心に据えて、地方創生戦略の発動に際し、さまざまな可能性を研究してまいります。

他の一般質問概要

◆豪雪地帯への意識定着と対応
この豪雪は地球温暖化にと

もない、今後も続くと考え、除雪対策を再構築すべきであり、スノーシェルターの設置などに広域で取り組むべきと提起します。

町長答弁

町民生活等に影響が出ないよう最大限取り組みます。

ズバリ!

町政を問う

ここが聞きたい

Q 町有バスの有効活用の向上

A 利便性の向上を検討



上原 房子 議員

質問

昨年のバスダイヤ改正後のバスの利用率は上がりましたでしょうか。

配布された時刻表(路線図)は分かりにくく、表示方法に工夫し、バス停周辺の店舗や公共施設を書くなど、料金も市街地は大人(小人半額)一律とし、空港方面には、ゆめの森公園のバス停を追加して誰でも利用しやすい町有バスを望みます。
また、経費節減のためにも学校を通じて子ども達に配布

すると家族の目にも止まりません。

時間の取り方で、児童・生徒の通学バスに利用でき、親が送らなくて良くなることもあり、職員が徒歩出勤を強いられた不測の事態にも対処でき、町有バスの有効活用に繋がると思いますが、町長のお考えをお聞かせ下さい。

町長答弁

1月末現在での町有バス2路線につきましては、対前年比で、利用者数は1千601人で約97%の増加、運送収入は26万505円で約159%の増加となっております。

また、市内循環線につきましては、利用者数は9千129人で約39%減となっております。時刻表や路線図の表示の改善は有効な方法であり、先進的なバス事業者の資料をサンプルとして、利用者の増加と利便性の向上に向けて、検討を重ね関係団体とバス路線の改変を計画していきたいと考えております。

Q 認知症の在宅支援

A 高齢者用ガイドブックを検討したい



端 裕子 議員

質問

昨年囂託殺人事件があったが、介護する人が一人で抱え込まずに、安心して相談できる体制づくりが必要です。

その後の取り組みを教えてください。
また、認知症サポーター養成講座がありますが、度々講座を開設して会員増を図ることが必要です。
高齢者用に介護保険・認知症予防・ふれ合いサロン開設・各事業所や相談できる課や電話番号を明記して、高齢者や町内会に配るガイドブックが便利だと思いますが、町長のお考えをお聞かせ下さい。

町長答弁

その後の取り組みとしては、26年2月ケアマネ連絡会、4月30日に介護保険サービス調整会議を開催し、地域包括支援センターへの相談など、現状体制推進を再確認しました。認知症サポーター養成講座は今年度3回28名が受講しており、27年度も数回の開催を予定しています。

高齢者向けガイドブックは、町民便利帳等の内容を充実する方向で検討したいと考えています。

再質問

地域包括支援センターが高齢者の相談業務や介護予防を担っているのだから、もっと積極的に活動し、広報することが必要です。

また、27年度に介護保険法が改正になり、30年度から要支援1・2の事業を町が担うこととなります。一刻でも早く立ち上げ、実績を積んで、町民を安心させてほしいと思います。

介護保険課長答弁

要支援1・2に対する地域支援事業については、29年度までに構築してまいります。

釧根林活連絡会議研修会に参加して

3月23日、釧路工業技術センターで、釧根林活連絡会議研修会が開催されました。

今回は「木造牛舎普及に向けた取り組み」と題し、根室振興局森林室主査の山本健治氏の講演がありました。

釧根地域の現状は豊富なカラマツ資源があり、地域において建築の製材・加工も可能になっています。

昭和40年代に建てられた牛舎の多くが建替え時期を迎えており、カラマツ材の活用に向けた新たな需要の掘り起こしとして、平成22年度から酪農王国木造牛舎推進プロジェクト（根室振興局・釧路総合振興局）を立ち上げています。

これによって「地材地消」による木造牛舎建築への普及に向け、酪農業、建築設計や試験研究機関等と連携し、調査・分析を行うことにより、木造による建築や林業・木材産業等の活性化などを図るものとしております。

調査・研究の結果、木材との比較では鋼材は価格変動がしやすく、木材は安定しており、圧縮や引張の強度性にも優れ、生き物にやさしい材料として見直されています。

固定資産税の面でも木造牛舎は鉄骨づくりに比べて経費も安く、



釧根林活連絡会議研修会

長期的にみても経済的です。具体的な木造牛舎建築への普及の取り組みは、釧根管内の酪農家を対象としたアンケート調査の実施、木造牛舎設計提案書の説明会や見学会の開催など、さまざまなPR活動も積極的に行なっています。

（水石 幸衛 議員）

広域連合・一部事務組合の議会報告

2月27日開催

根室北部廃棄物処理広域連合

（構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町）

- 平成26年度一般会計補正予算は185万3千円を減額し、予算総額9億131万9千円
- 平成27年度一般会計予算歳入歳出総額9億6,390万9千円

中標津町外2町葬斎組合

（構成町：中標津町、別海町、標津町）

- 平成26年度一般会計補正予算は107万1千円を減額し、予算総額5億4,397万1千円
- 平成27年度一般会計予算歳入歳出総額1億4,144万7千円

根室北部衛生組合

（構成町：中標津町、標津町、羅臼町）

- 平成26年度一般会計補正予算は1,044万9千円を減額し、予算総額3億1,918万7千円
- 平成27年度一般会計予算歳入歳出総額5億3,389万円

根室北部消防事務組合

（構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町）

- 平成26年度一般会計補正予算は526万8千円を減額し、予算総額16億1,164万8千円
- 平成27年度一般会計予算歳入歳出総額18億393万9千円

みんなの声を国政に

意見書

次の4件について、議員から意見書案が提出されました。
定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

少人数学級の取り組みの充実・強化及び教職員定数の改善を求める意見書

提出者 上原 房子 議員

財政制度等審議会・分科会は、いじめ認知件数を根拠に、35人学級から40人学級に戻すべきとの議論は、学校現場や保護者の声とかけ離れており、財務省の考え方は撤回し、義務標準法の改正を行い、長期的な視点に経った教職員の質と数の向上等の一体的な取り組みを国の責任で強化するよう強く要望する。

労働者保護ルール改定に慎重対応を求める意見書

提出者 佐藤 武志 議員

一、不当な解雇として勝訴しても、企業が金銭さえ払えば職場復帰の道が閉ざされてしまう「解雇の金銭解決制度」及び長時間労働を誘発するおそれのある「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入や、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある「限定正社員」制度の普及などは、慎重に対応すること。
二、労働者派遣法の見直しは、常用労働者との代替が生じないよう、派遣労働の利用を臨時・一時的なものに限ることを原則とすること。
三、労働者保護に関するルール改定

は、労働者代表委員、使用者代表委員、公益委員で構成の労働政策審議会です。充分な議論がなされた上で行うこと。

農協関係法制度見直しに関する意見書

提出者 弾正原 正 議員

一、食料の安定供給、地域の振興について農協法の目的に明確に位置付けし、事業目的の見直しにあたっては、協同組合の基本的性格を維持すること。

二、准組合員は農業や地域経済の発展をとともに支えるパートナーであり、人口減少への対応や雇用の創出など「地方創生」のためにも、准組合員の利用制限は行なわないこと。

三、JA・連合会の協同組合としての事業・組織を制約する一方的な事業方式、業務執行体制、法人形態の転換等は強制しないこと。

TPP交渉等国际貿易交渉に係る意見書

提出者 熊倉 重樹 議員

TPP交渉は、大筋合意に向けて、閣僚会合や首席交渉官会合、日米二国間協議などが断続的に行われており、交渉内容も引き続き予断を許さない状況が続いていますので、以下の事項に

ついて強く要望いたします。

一、政府は平成25年4月の衆参両院農林水産委員会における決議「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉参加に関する件について」を遵守するとともに、決議が守られない場合は、TPPから脱退すること。

二、EPA・FTA等すべての国際貿易交渉において、重要品目等の関税等、必要な国境措置を維持すること。

人事案件

根室町村等公平委員会委員の選任に同意しました。



氏名 渡辺 好之 氏
住所 標津郡標津町北2条
東1丁目1番地11号

生年月日 昭和18年11月8日
任期 平成27年4月1日
至平成31年3月31日

常任委員会活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

総務文教常任委員会

北方領土返還署名

教育委員会

●旧開陽小学校の校舎等利活用
(中間報告)

旧開陽小学校校舎等利活用公募については、優先順位基準を判断し、5件の希望者がありました。今後の対応として、補助事業、代表者名、収支、財源や体制等に関する具体化計画書の提出に基づいて決定します。

●学校給食費の未納対策の報告

学校給食費の滞納額が増加し、受益者負担の原則から内部協議をして、教育委員や関係団体等に現状を説明し対策を検討しました。

学校給食費の現状(平成25年度決算)について、滞納者94世帯、滞納額810万2千円、(現年度364万6千円、過年度445万6千円)という内容を受け、教育委員会



北方領土返還署名活動

総務部

では、平成27年より保護者の皆さんから「学校給食申込書」をいただくこととしました。

●地方版総合戦略の策定

・国の長期ビジョン
2060年に一億人程度の人口を確保する、中長期展望を提示。

・国の総合戦略
2015〜2019年(5カ年)の政策目標、施策を策定。
・町の地方人口ビジョン
地域の人口動向や将来人口推計の分析や中長期の将来展望

を提示。
・地方版総合戦略
地域の人口動向や産業実態等を踏まえ2015〜2019年度(5カ年)の政策目標・施策を策定。
(2月19日 委員会開催)

●北方領土問題について

2月7日8日の冬まつり会場で、北方領土返還運動の署名活動に参加をしました。
会場では多くの皆様から、2日間で1千269名の署名をしていただきました。
(飯島 佐市 議員)

厚生常任委員会

社会福祉協議会との懇談会

町民生活部

●社会福祉協議会と懇談会

1月15日午前、計根別小中学校増改築事業及び白樺斎場改築事業の現場視察。

午後、中標津町社会福祉協議会との懇談会。
通称「社協」は社会福祉法人

として幅広い福祉事業を展開し、町の委託事業も受けています。組織の仕組みや事業の中心について詳しく説明を受け、役員・理事の皆さんと懇談しました。介護サービス事業における介護職員の人材不足と、現状ショートステイの利用が困難であることが大きな課題であり、この

レポート

ままでは在宅介護で「介護する側」の負担が益々大きくなるとの認識を共有しました。

また、要支援対象の介護サービスが地域支援事業として移行されることについて、町内会加入率の低下も踏まえて地域の支え合い・助け合いの構築が大きな課題であること、他にもボランティア活動や災害時の取り組みについてなど意見交換がなされました。

●国民健康保険事業その他

2月18日、国民健康保険事業について（保険税の改正）、第4期中標津町障がい福祉計画について、中標津子ども・子育て支援事業計画について、第4次中標津町母子保健計画についての説明を受けて質疑しました。

●武佐へき地保育所閉所

2月18日、武佐へき地保育所閉所については「園児数が3年間10人未満になった場合は休所または閉所とする」従来からのルールを基

本として、地域との協議の結果、来年度の入所児童の見込みがなくなったことから、閉所が決定された旨の報告がありました。

町立病院

●管理運営について

2月18日、町立病院の管理運営について（月別患者数、診療収入の状況）についての説明を受けて質疑しました。（1月15日、2月18日

委員会開催

（瀬波 秀人 議員）



社会福祉協議会との懇談会

産業建設常任委員会

台湾へのチャーター便誘致

経済部

●空港利用促進について

台湾チャーター便（インバウンド・アウトバウンド）が航空会社・日程の変更もありましたが3月17日から21日まで実施されます。

今回は空港初の外国人団体の受入となります。国内チャーター便も今後関西方面を中心に行われるとのこと。台湾・国内チャーター便とも、当町を含め道東の観光振興に大きな弾みになります。

建設水道部

●現地視察（計根別小中学校・白樺斎場・西2条橋）

計根別小中学校は冬休み中でしたが、随所に児童生徒が利用しやすい所が見られました。この後は屋体が9月末に完成します。

白樺斎場は建物・炉工事とも完成し、検定済みです。



白樺斎場の視察

（佐藤 武志 議員）

委員会開催

見直し、今後10年の基本政策を取りまとめるものです。中標津町下水道ビジョンも水道ビジョンと同様に実施します。両ビジョンとも施策目標を実現するために具体的に計画・実施・点検・見直しというサイクルを確立すると説明されました。

4月1日に供用開始されますが、炉が増設され、控室も広く使いやすくなりました。西2条橋は工事も順調に進み、7月から供用開始です。

●上下水道事業について

中標津町水道ビジョンは第6期総合発展計画「安全・安心で快適なまちづくり」を指し、町民の理解のもと、強靱かつ持続的な水道事業経営をするためマスタープランを

●建設工事の発注状況

平成25、26年度の町が発注した建設工事の発注計画、発注の件数、金額、発注内訳（町内・町外）についての説明がありました。（1月15日、2月18日

平成27年1月から3月までの活動報告					
月日	行 事	出席者	月日	行 事	出席者
1月6日	新年交礼会	議長・議員	2月23日	議会運営委員会	全 委 員 員
7日	中標津町成人式	議長・議員	27日	中標津町外2町葬斎組合、根室北部消防事務組合、根室北部廃棄物処理広域連合、根室北部衛生組合 各議会定例会	関 係 議 員
8日	中標津消防団出初式	議長・議員	3月1日	中標津農業高等学校卒業証書授与式	議長・議員
15日	議会広報特別委員会	正副委員長		衆議院議員伊東よしたか新春交礼会	議 長
	厚生常任委員会	全 委 員 員		2日	総務文教常任委員会
	産業建設常任委員会	全 委 員 員		厚生常任委員会	全 委 員 員
19日	議会改革特別委員会	欠 席 1 名		産業建設常任委員会	欠 席 2 名
22日	東北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会	議 長		議会運営委員会	欠 席 1 名
	釧根林活連絡会議役員会(釧路市)	熊倉林活会長・佐藤事務局長		3月定例会本会議(1日目)	全 委 員 員
	中標津町商工会新年恒例懇談会	議 長		全員協議会	欠 席 3 名
24日	中標津地区連合会定期総会	議 長		3月定例会本会議(2日目)	欠 席 3 名
27日	根室管内商工会連合会、町長・議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会	議 長		予算審査特別委員会(1日目)	欠 席 1 名
28日	(一社)北海道中小企業家同友会	議 長		3月定例会本会議(2日目)	欠 席 1 名
	南しれとこ支部新年交礼会			予算審査特別委員会(2日目)	欠 席 1 名
30日	北海道議会議員中司てつお新春交礼会	議 長		5日	予算審査特別委員会(3日目)
2月4日	なかしべつ冬まつり雪像制作団体陣中見舞い	副 議 長		厚生常任委員会	欠 席 2 名
7日	北方領土返還要求全国大会(東京都)	議 長		産業建設常任委員会	欠 席 1 名
	なかしべつ冬まつり開会式	副 議 長		総務文教常任委員会	全 委 員 員
	2015「北方領土の日」根室管内住民大会(根室市)	副 議 長		7日	自衛隊入隊予定者激励会
8日	総務文教常任委員会	欠 席 1 名		中司てつお後援会事務所開き	議 長
	鈴木宗男・鈴木たかこ新春交礼会	副 議 長		9日	予算審査特別委員会(4日目)
12日	議会改革特別委員会	全 委 員 員		全員協議会	欠 席 1 名
17日	3月定例会議件事前説明	正副議長・正副議運委員長		10日	予算審査特別委員会(5日目)
18日	厚生常任委員会	欠 席 1 名		議会運営委員会	全 委 員 員
	産業建設常任委員会	全 委 員 員		3月定例会本会議(3日目)	欠 席 1 名
19日	総務文教常任委員会	全 委 員 員		議会改革特別委員会	全 委 員 員
			17日~21日	大地みらい信用金庫りんど支店竣工式	議 長
			20日	台湾チャータープロモーション	副 議 長
			26日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名
				議会広報特別委員会	全 委 員 員

中標津町議会報告会開催のお知らせ

中標津町議会は町民の負託に応え、議会が主体となり町民と連携することが重要であり、説明責任を果たすため、地域に向き議会活動の状況などを報告するとともに、議会や町政に対する皆様の意見や提言などを聞く場として、議会報告会を実施します。

町民の皆様の参加をお待ちしております。

とき **平成27年7月26日(日)**
13:30 ~ 15:30

中標津会場 **中標津町総合文化会館 2F 研修室**

計根別会場 **中標津町交流センター**

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場

TEL (0153) **73-3111** FAX (0153) **73-5333**
(議会事務局にご連絡を)

- ・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは gikai@nakashibetsu.jp

発行/北海道中標津町議会 編集/議会広報特別委員会

議会からのお知らせ

「議会を傍聴してみませんか」

議場には傍聴席(車いす用スペースあり)があり、先着順に議会傍聴できます。傍聴者には参考資料を配布して、議会の取り組みが理解できるよう対応しています。一人でも多くの方々に傍聴していただきたくご案内します。

その他、議会に対する要望などがありましたら議会事務局にお申し出ください。